

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町3-2-6 麹町本多ビル3B

評価機関名 一般社団法人 日本福祉サービス評価機構

認証評価機関番号

機構 02 - 033

電話番号 03-3262-2260

代表者氏名 代表理事 太田 吉泰

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		修了者番号	
	①	太田 吉泰	H0301059	
	②	笹野 武則	H0901035	
	③	植村 義秀	H1801080	
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	共同生活援助(グループホーム)			
評価対象事業所名称	すてっぷ小中尾	ユニット総数	4	指定番号 1322800077
現地調査をしたユニット数及びユニット名	現地調査ユニット数	4	ユニット名 ①すてっぷ小中尾/すてっぷ小中尾 ②すてっぷ小中尾/あすなる ③すてっぷ小中尾/フォレスト ④すてっぷ小中尾/やまなみ	
現地調査をしたユニットの選定理由(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ユニットの特徴 <input type="checkbox"/> 前回の評価で訪問していないユニット <input type="checkbox"/> 利用者調査結果 <input checked="" type="checkbox"/> その他(4つなので、全て対象にした。)			
事業所連絡先	〒	198-0001		
	所在地	東京都青梅市成木2-130-2		
	TEL	0428-74-4192		
事業所代表者氏名	施設長 宮崎 啓太			
契約日	2020年 7月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 9月 13日			
利用者調査結果報告日	2020年 11月 24日			
自己評価の調査票配付日	2020年 7月 28日			
自己評価結果報告日	2020年 11月 24日			
訪問調査日	2020年 11月 26日			
評価合議日	2020年 12月 23日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は聞き取り方式を中心に実施しました。調査当日、不在だった利用者にはアンケート方式で回答してもらいました。回答は直接評価機関に郵送してもらいました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2021年 3月 29日

事業者代表者氏名 施設長 宮崎 啓太

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)利用者一人一人をかけがえのない存在として大切にします。 2)利用者の人間としての個性、主体性、可能性を尊びます。 3)障害のある人たちに対するいかなる差別・虐待・人権侵害を許さず、人としての権利を擁護します。 4)障害のある人たちが社会活動に参画し、市民社会の一員として生活できるよう支援します。 5)利用者が希望する自立の実現に向けた支援をします。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>①利用者の願いや思いに耳を傾け、理解し、その実現に向けて真摯に取り組む姿勢を持ち職務に従事する人材。 ②業務の課題や気付きに対して迅速に対応し、業務マネジメント、タイムマネジメントを実践する人材。 ③日々の職務を通して、地域住民や地域社会に対して、障害者の権利擁護、共生社会に向けた取り組みを発信できる人材。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>①自らが率先して、ユニットや利用者の生活の質の向上に努め、利用者の自己実現、願いや思いに応えるべく、日々切磋琢磨、自己研鑽することを期待する。</p>

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-5-2	サービスの実施にあたり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重している
タイトル①	連絡・相談しやすい体制、意思を尊重する支援、思いをくみ取る支援に取り組んでいます	
内容①	利用者の判断や要望等の意思決定において、話し合いや説明、助言を丁寧に行い、本人の意思を尊重する支援を行うよう取り組んでいます。生活支援員が日常的にGHを訪問し、毎月個別面談を行って利用者の思いを把握しています。支援員は公用携帯電話を所持し、利用者が困ったとき職員と速やかに連絡したり相談できるようにし、必要に応じて個別面談も行っています。職員の対応が押し付けになっていないか、利用者の意向に沿っているか、など職員間で確認し、利用者の意に沿わない助言を行う場合も本人の要望に真摯に向きあっていきたい、としています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-1	個別の支援計画等に基づいて、自立した生活を送れるよう支援を行っている
タイトル②	利用者の望む自立生活を実現するためIADLが段階的に高められるよう支援しています	
内容②	利用者が希望する自立生活が実現できるよう、アセスメントや個別支援計画書に基づきIADL(日常生活関連動作)の自立度が段階的に高められるよう支援しています。調理学習や携帯電話の使用法、ATM操作、振込、金銭管理、公共交通機関の練習等の情報提供を行いながら、個々の利用者の要望に応じて自立に向けた支援を行っています。免許や資格取得などの情報提供や、自分と同じ位の人の生活の様子などの情報提供も行い、自立生活や単身生活が具体的にイメージできるよう支援し、サテライト型住居やアパート方式GHなどの情報提供も行っていきます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-4	利用者が健康を維持できるよう支援を行っている
タイトル③	現在の生活が長く続けられるよう高齢層利用者の健康管理に留意した支援を行っています	
内容③	利用者の半数は中高齢層です。中高齢層の利用者が現在の生活をできるだけ長く続けられるよう、特に高齢層利用者の健康管理の支援に留意しています。高齢期の利用者は全員かかりつけ医に定期的に通院し治療、健康管理を行うと共に、健康状況に応じて内科のほか歯科、整形外科等へも通院し健康維持を図っています。世話人は利用者の健康面の変化を見落とさず「いつもと違う」ことに逸早く気づくよう留意し、記録や支援員等に連絡すること等を徹底しています。また健康診断の結果に応じて、早期に医療機関と連携して健康管理ができるよう支援しています。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用者の意思決定に際してはリスクの説明や助言を丁寧に行い、利用者の意思、個性、主体性を尊重した支援を行うよう取り組んでいます
	内容	利用者の意思決定に際しては本人の意思を尊重する支援を行い、リスクの説明や助言を丁寧に行っています。支援員は日常的にGHを訪問し、毎月個別面談を行い利用者の思いを把握しています。共同生活の中でも個性を尊重し、個人の嗜好等の要望（喫煙、飲酒等）についても、話しあって個別のルールを設ける等しています。利用者の会を毎月開催し、要望や意見交換、ルール、問題解決等、利用者が主体的に生活していけるよう支援しています。また、利用者への対応が押し付けになっていないか、利用者の意向に沿っているかなど職員間で確認しています。
2	タイトル	支援スタッフ会議等で利用者理解や支援方法等の情報共有を図り、世話人と生活支援員が緊密に連携した支援体制でGHが運営されています
	内容	世話人、支援員の連携を密にしてGHの運営を行っています。支援スタッフ会議を毎月開催し、世話人・支援員・サービス管理責任者により利用者の状況の確認、個別支援計画、利用者理解や支援方法等の具体的な情報提供、運営事項等の確認を行い、情報共有を図っています。各ユニットの職員の関係性が良好で会議や引継ぎ等オープンに話し合える環境になっているとのこと。各ユニット職員は利用者の状況等に応じ、ダイエットの必要な利用者やウォーキングやランニングを行ったり、コロナ下の待機利用者にGH独自のプログラムを組む等も行っています。
3	タイトル	バックアップ施設との積極的な連携・協力体制の下で、健康診断や利用者情報の共有、大規模災害時の協働体制等リスク軽減を図っています
	内容	バックアップ施設（成人部）の管理者がGH管理者を兼務しており、利用者支援や健康管理、災害対策等、バックアップ施設の積極的な連携・協力体制の下でGHが運営されています。バックアップ施設の職員がGH利用者のバックアップを適切に行えるようGH職員と連携して利用者情報を共有する、利用者の健康診断を成人部利用者の健診に合わせて実施する、等も行っています。大規模自然災害時等においてGHへの職員派遣や協働体制など積極的なバックアップが得られる体制があり、バックアップ施設の協力・連携体制によりリスク軽減が図られています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業所の運営方針や支援内容等をより積極的に情報提供し、情報発信の窓口となるHPの説明内容や利用者募集等を工夫することが望まれます
	内容	定員に空きがありますが利用希望が少なく、相談支援事業所等関係機関に情報提供しています。希望者が少ない理由として、市内でGHの新設・増床が顕著で、事業所の立地条件が大きな要因とのこと。様々な団体による新設・増床はGHの支援内容やサービスの質を低下させている状況もあり、当事業所の運営方針や特徴、支援内容等より積極的に情報発信していくことが重要だと思われます。「見学申請、空き状況の確認がHPでも行えるよう検討したい」としています。事業所説明や利用者募集等情報発信の窓口となるHPの内容の見直しが望まれます。
2	タイトル	限られた職員配置の中で、職員業務の負担軽減と共に利用者の安心安全・良質なサービスを提供する体制を維持していく取り組みに期待します
	内容	利用者の体調急変や事故、緊急連絡等に24時間対応する体制で運営しています。今後の高齢化対応や感染症リスク等も加わり、24時間対応の重要性はますます高くなっているようです。一方、限られた職員配置での支援体制による職員の業務負担が大きく、ユニット増に伴う職員増や連絡体制の見直し、宿直から夜勤への夜間体制の強化等も必要になるとのこと。限られた職員配置の中で、職員の業務負担を軽減しながら、利用者の安心安全・良質なサービスを提供する体制をどう維持していくか、大変難しい課題に引き続き取り組んでいくよう期待します。
3	タイトル	
	内容	